

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和5年10月24日

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第8回シンポジウムを11月27日（月曜日）に開催します

埼玉県では、県民の方や企業、NPO、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの連携を通じてワンチーム埼玉で「埼玉版SDGs」を推進するため、「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」を設置しています。

このたび、本プラットフォームでは、自然環境・社会情勢が大きく変動する中で、企業や団体にとってどのようなチャンスがあり、どのような役割を担えるのかをテーマに有識者の基調講演と県内事業者の事例発表の二部構成のシンポジウムを開催します。

●開催概要

1 日時

令和5年11月27日（月曜日）午前10時から正午まで

2 場所

埼玉会館小ホール（さいたま市浦和区高砂3-1-4）

3 内容

(1) 基調講演 講師：気象予報士 森田 正光 氏

「気候変動による2030年の姿

～地球温暖化による変化に対する企業のチャンスと役割～」



<講師プロフィール>

財団法人日本気象協会を経て、1992年初のフリーお天気キャスターとなる。同年、民間の気象会社株式会社ウェザーマップを設立。親しみやすいキャラクターと個性的な気象解説で人気を集め、テレビやラジオ出演のほか全国で講演活動も行っている。

2005年財団法人日本生態系協会理事に就任し、2010年からは環境省が結成した生物多様性に関する広報組織「地球いきもの応援団」のメンバーとして活動。環境問題や異常気象についての分析にも定評がある。

(2) 事例発表

①株式会社篠崎運送倉庫（鴻巣市）

代表取締役社長 山岸 優太 氏



<主な取組>

営業倉庫として国内初となる環境配慮型木造定温倉庫を設置。全木造とするとともに家庭用ルームエアコンを活用することで、CO₂排出量を従来型倉庫の1/3程度まで削減可能とした。また、設置コストと運用コストの削減も実現して、企業経営にメリットを与えるSDGsの取組を実現している。

この倉庫は埼玉県行田市と岩手県北上市に設置しており、今後もゼロカーボンの営業倉庫事業の開発を進めるなど、より一層の事業拡大を目指している。

②ASTRA FOOD PLAN 株式会社（富士見市）

代表取締役社長 加納 千裕 氏



<主な取組>

「かくれフードロス」削減に取り組む企業。独自開発した食品の乾燥・殺菌装置を用いて、食品ざんさや規格外農作物等を食品パウダー『ぐるりこ』に変える技術を持つ。吉野家ホールディングスとベーカリーチェーンのボンパドウルとのプロジェクトでは、吉野家で発生するタマネギ端材から「タマネギぐるりこ」を製造し、これを使用したオニオンブレッドが発売された。

4 申込方法

下記URL又は二次元コードの電子申請・届出サービスからお申込みいただけます。一度に10名までの申請が可能です。（先着順・定員300名）

(URL)

https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=61754

(二次元コード)



※申込先のURL及び二次元コードに誤りがあったため11月7日（火）19時45分に修正しました。

5 埼玉版 SDGs 推進アプリ『エスキューブ』とのタイアップ

本イベントに御来場いただいた方は、会場に設置した二次元コードをアプリから読み取ると、50ポイントが付与されます。